

授業科目名 (英訳)		産官連携特別セミナー（熟議）Ⅱ Special lectures and discussion for leadership(Juku-gi) Ⅱ				担当者所属 職名・氏名		総合生存学館 関係教員			
配当学年	2 回生	単位数	2	開講年度 開 講 期	H27 通年	曜時間	土/3・4 (隔週・変則講義)	授業 形態	講義	授業 形態	日本語
【授業の概要・目的】											
<p>本講義は、各界のリーダーにより、現在社会が抱える経済・産業・政治・行政・国際関係等におけるグローバル及びローカルな課題に関して、状況の把握とそれに対する考え方を学ぶ。自らがリーダーとして問題解決に当たる考え方等に関して、講義を行うと共に、講義から自らの課題を抽出し、調査研究を行い、その成果を発表してディベートにより多様な意見、考え方の集約を図る。課題の解決に向けた方策を提示し、レポートにまとめさせる。一連の学習を通じて、課題解決に向けたプロセスを学び、柔軟な思考で俯瞰的視野を養い、未来のリーダーとしてのモチベーションの向上と心構えの体得を図る。このため、産官連携セミナー（熟議）Ⅰで行った内容を踏まえ、ケーススタディを深め、課題設定から課題解決へと導く。</p>											
【到達目標】											
<p>現代社会が置かれている状況についての的確に把握するとともに、そこから課題を見だし、それをめぐる調査研究・ディベートを通して、課題解決の方策を探る力を身につける。</p>											
【授業計画と内容】											
<p>本講義は前後期の隔週土曜日に行い、生きたケーススタディとしての学外講師 1 名につき 10～15 時間を担当し、2 コマ連続の集中講義として、前後期で各 4 回実施し、担当教員がそれぞれ取りまとめを行う。</p> <p>【第 1 回：課題設定】日本のグローバル化におけるリーダーとしての考え方に関して、事例などを交えて講義を行う。その後、学生は、ディベートを通じて課題設定を行う。</p> <p>【第 2 回：調査】学生は、設定した課題に関して事前調査研究を行い、及びその結果を報告する。</p> <p>【第 3 回：ディベート】学生は、再検討した調査研究結果をもとに、ディベートを通じて議論の集約を図る。</p> <p>【第 4 回：解決策報告】課題解決に向けた提案を行わせ、ディベートを経て、最終レポート提出の指導を行う。</p>											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
講義時のディベートや調査報告、講義後のレポートを通して、到達目標を達成したかどうかを判断する。											
【教科書】											
無し											
【参考書等】											
無し											
【授業外学習（予習・復習）等】											
参加者同士で議論を深めたのち、講義に参加すること。											
【その他（オフィスアワー等）】											
事前の調査およびディベートでの積極性を重視する。全講義への出席が必須である。											